

豊崎東小学校

所在地	〒531-0062 北区長柄中2-3-30	
電話番号	06-6351-4920	
校長名	鬼塚 光晴	
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e511010	

教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる。

沿革

大正 6年11月	大阪府西成郡豊崎第四尋常小学校として設立開校
大正14年 4月	大阪市へ編入 大阪市立豊崎第四尋常小学校と改称 講堂(木造平屋)できる
昭和16年 9月	学制変更により、大阪市立豊崎東国民学校と改称
昭和21年 4月	大阪市立豊仁国民学校戦災のため、本校で共に学習する
昭和22年 4月	大阪市立豊崎東小学校と改称
昭和29年 4月	豊仁小学校、本校より分離 独立
平成 9年 3月	豊東わくわくランド(第2運動場)完成
平成23年 4月	完全二日制の実施
平成29年11月	創立100周年記念行事開催
令和 8年	創立108周年

学校運営に関する計画

【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

- 基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現**
○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 基本的な方向 2 豊かな心の育成**
○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上**
○小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。
- 基本的な方向 5 健やかな体の育成**
○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

- 基本的な方向 6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進**
○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を62%以上にする。
- 基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり**
○時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。
- 基本的な方向 8 生涯学習の支援**
○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進**
○保護者アンケート「学校は、学校だよりや学年だよりを通して、学校や学年の情報がわかるよう工夫している」「学校は、ホームページやミマモルメを活用して、学校の情報や子どもたちの様子等を発信している」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を前年度より増加させる。

【※詳細は学校ホームページをご覧ください】



令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

国語	算数	理科
69	66	56

平均正答率(%)

■結果の概要・取組の成果と課題

国語・算数ともに、全国平均・大阪市平均を上回った。理科については、大阪市平均を上回った。

【国語】

学習指導要領の領域「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」と「(3)我が国の言語文化に関する事項」においては、全国平均を上回っている。「(2)情報の扱い方に関する事項」に関しては、令和6年度は全国平均を上回っていたが、令和7年度に関しては全国平均を下回る結果となった。また、「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」の内容に関しては、全国平均を上回る結果となった。

【算数】

学習指導要領の領域「A数と計算」、「B図形」、「C変化と関係」、「Dデータの活用」の各領域で全国平均を大きく上回った。特に、「A数と計算」、「C測定」で7.0ポイント以上全国平均を上回っており、個に応じた指導を進めてきた成果が表れた。総じて、年々基礎的・基本的な知識や技能は定着してきているといえる。

【理科】

学習指導要領の領域「粒子」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域において全国平均を上回っている。しかしながら、「エネルギー」を柱とする領域と「生命」を柱とする領域においては、全国平均を4.0ポイント以上下回った。今後は、ふりかえり学習をおこない、定着を図ってきたい。

総じて、国語と算数ともに基礎学力が高まっているといえる。しかしながら、各領域や個々の児童の結果を細かく分析すると、学力の二極化や課題の大きな児童の支援すべき要点が明確になってきている。児童一人ひとりの課題に対して、個に応じた丁寧な指導やペア、グループで交流する活動を今後とも進めていく。また、すべての児童にとって、「楽しい学校」「過ごしやすい学校」となるように、実生活に役立つ学習を教科横断的に取り組んでいく。また、学校の授業だけではなく、家庭学習や自習学習など様々な場でタブレットやIT機器を活用することで、より深い学びになるよう取り組んでいく。さらに、児童にとって、楽しく分かりやすい授業となるよう、チーム学校として研究や研修を行い、授業改善に取り組んでいく。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシットラン(秒)	50m走(秒)	立ち幅とび(m)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
男子	15.29	17.47	35.48	39.55	43.45	9.68	150.48	23.24	50.27
女子	13.83	16.79	45.11	37.46	34.33	10.06	136.84	13.19	52.34

(種目別平均値)

■結果の概要・取組の成果と課題

体力合計点は、男子が50.27、女子が52.34であり、大阪市平均を下回った。アンケート項目「運動やスポーツをすることは好きですか」において、肯定的な回答をした児童の割合は、男子が82.8%、女子が90.7%であった。「体育の授業は楽しいですか」の項目では、肯定的な回答をした児童の割合は、男子が94.3%、女子が100%であった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が19.4%、女子が20%と、全国平均を上回っている。

これまで、体力アクションプランとして、全校でなわとび週間やかけあし週間を設け、体力の向上に努めた。成果として、体育の授業では、副読本や学習カードを利用し、児童の意欲を高めたり、成長を感じたりすることができるようにしたこと、個人が目標をもって、楽しみたり友だちと話し合ったり、協力し合ったりできる場の設定に取り組むことができた。

課題として、「握力」「上体起こし」などの筋力の記録が大阪市や全国の平均を下回った。年間を通して筋力向上の取り組みを体育の学習に取り入れる必要がある。体育の授業以外で運動やスポーツをしていない児童も一定数いる。今後は、学級遊びや外遊びの紹介、みんな遊びの仕方など、運動する機会を増やす取り組みをしていく必要がある。より「できた」「わかった」と感じる児童を増やすために、成功体験を増やし、体力向上につなげていきたい。

標準服

男子	夏服	白カッター / ポロシャツ 紺半ズボン
	冬服	紺上衣 白カッター / ポロシャツ 紺半ズボン / 長ズボン
女子	夏服	白ブラウス / ポロシャツ 紺スカート / 紺半ズボン
	冬服	紺上衣 白ブラウス / ポロシャツ 紺スカート / 長ズボン



入学式



水泳指導



豊東わくわくランド



春の遠足



修学旅行(滋賀・鳥羽方面)



スポーツテスト



運動会



商店街見学



社会見学



卒業遠足



林間学習(ハチ高原)



特記事項 学校選択により通学区域外から就学する際は、保護者様の送り迎えをお願いします。